

# 成績管理システム ビジネス要件定義書

## 1. プロジェクト概要

- システム名: 成績管理システム
- 目的: 教師の成績管理効率化
- 対象: 小～大学教師
- 期間: 成績入力・集計・分析・出力

## 2. ビジネス目標

- 事務作業50%削減
- 計算正確性100%
- 処理時間1/3短縮
- 6ヶ月で100校・1000名利用

## 3. 機能要件

### 3.1 ユーザー管理

- 登録・ログイン、学校情報管理、権限設定

### 3.2 生徒管理

- 基本情報登録・編集、CSV入出力

### 3.3 成績管理

- 科目別入力、複数テスト対応、一括入力、自動保存、履歴記録

### 3.4 計算・集計

- 平均・合計・積分・偏差値・分布

### 3.5 分析・可視化

- ヒストグラム、推移グラフ、比較分析、ダッシュボード

### 3.6 出力

- 個人成績表・クラス一覧 (PDF/Excel)、面談資料

### 3.7 データ管理

- 過去データ保存・検索、バックアップ

## 4. 非機能要件

### 4.1 パフォーマンス

- 150名処理3秒以内、同時100ユーザー

### 4.2 セキュリティ

- SSL/TLS、パスワード暗号化、2段階認証、個人情報保護法準拠

### 4.3 可用性

- 稼働率99%、24/365運用、日次バックアップ

### 4.4 ユーザビリティ

- 直感的UI、レスポンシブ対応、ヘルプ機能

### 4.5 拡張性・保守性

- 機能追加容易、API連携対応、エラーログ管理

## 5. 制約条件

- 開発期間: 6ヶ月

- 対応: Chrome/Firefox/Safari/Edge最新版

- データ保存: 5年

## 6. リスク対応

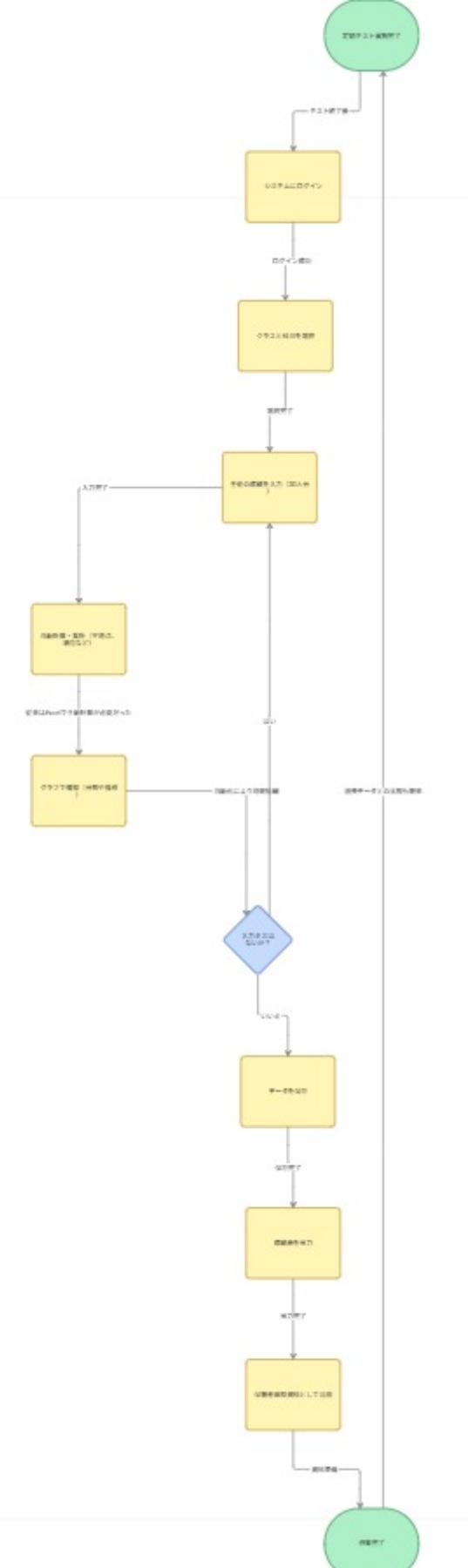
- データ移行 → ツール・サポート提供
- セキュリティ → 検断・バッチ適用
- ITリテラシー → マニュアル・窓口

## 7. KPI

- 6ヶ月で100校登録、月間利潤率80%、満足度4.0以上、作業時間50%削減

## 8. 今後の検討

- 出席・進路管理、保護者ポータル、モバイルアプリ、AI分析



分析項目	内容
1 ターゲット市場	高校・大学をメインに、小中学校でも利用可能な成績管理システム。1クラス30人×5クラス（約150人）規模を想定
2 市場機会	教師の事務作業負担軽減、デジタル化推進、リモート授業対応、成績データの一元管理ニーズ
3 主な競合	Excel/Googleスプレッドシート（無料だが手動管理）、校務支援システム（高価で導入ハードルが高い）、既存の成績管理ソフト
4 差別化ポイント	シンプルで直感的なUI、小中高大すべてに対応、手頃な価格設定、個人教師でも導入可能
5 課題・リスク	既存システムからの移行コスト、データセキュリティへの懸念、学校単位での導入承認プロセス